

田代町役場企画管財課



人口のうごき

平成2年6月1日現在

住民基本台帳		増		減		前対 日比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,895	0	6	1	1	4
女	2,089	2	6	1	4	3
計	3,984	2	12	2	5	7
世帯数	1,442					4

全九州高校総体
自転車競技大会
(ロードレース)
六月二十四日、全九州高校総体自転車競技大会(ロードレース)が本町を中心に開催されました。
レースは本町をスタートし吾平町までの80km(二往復)で競われ、沖縄県代表が見事に優勝を飾りました。

◎インゲン

年度	面積	反収	生産量	単価	販売額
58	0.5	440	2.2t	597	1,255
59	1.0	600	4.8t	367	1,653
60	1.0	610	6.1t	653	3,918
61	3.5	640	22.4t	593	13,300
62	2.6	1,000	26.0t	673	15,755
	1.5	500	7.5t	500	3,550
63	3.0	1,033	31.0t	642	18,618
	2.0	500	10.0t	951	7,608
元	2.5	1,000	25.0t	711	15,290
	1.0	600	6.0t	600	2,700

◎カボチャ

年度	面積	反収	生産量	単価	販売額
58	0.8	2,400	19.2t	149	3,825
59	2.8	1,750	49t	150	7,020
60	3.0	2,000	60t	240	11,160
61	16.0	1,560	249t	153	38,176
62	8.0	2,500	200t	191	36,377
	12.0	1,300	156t	200	29,640
63	9.0	2,500	225t	200	44,600
	20.0	1,300	260t	150	30,000
元	11.0	2,000	220t	202	34,520
	21.0	1,000	210t	200	30,000

本年五月に鹿児島県経済農協連主催の春カボチャのトップセールスに参加し、大消費地の名古屋、大阪の主力青果会社を訪問、両市場のセリ立合い（あいさつ）、販売の意見交換などおこない、鹿児島カボチャの宣伝につとめた。

このトップセールスのねらいは、本県が春、秋カボチャの継続的供給産地として不動の銘柄を確立するため、生産組織と行政機関が一体となり、カボチャを地域園芸の最重点品目として位置付け、これに取組んでいることを市場関係者に認識させ有利販売に結びつけることが目的であった。

しかし価格を左右する最大の要素は、需要と供給のバランスである。いま日本農業は国際化の波にさらさ

春カボチャのセールスに参加して 消費者の視点で 品質第一主義の生産を

助役 瀬ノ口 國雄

れ、カボチャもその例外でない。その主な輸入国は、ニュージーランド、メキシコでありこれも毎年増加の傾向にある。更にオーストラリアも日本産の指導で広大な土地に生産をはじめ、現地労働者を安い賃金（日本円で一五〇円）で雇用、また防霜には小型飛行機を何機もカボチャ畑の上空に飛ばし霜害がないようにしており、日本では想像できないようなスケールである。そのカボチャも今年から入荷、ニュージーランド、メキシコ産は粗放栽培で品質は悪いが、オーストラリア産は日本産の上クラスに匹敵し価格も変わらない。

いま消費者が求めているのは五感を満足させるような商品でなければならな

い。つまり「視覚」眼でみて楽しむ、「聴覚」聴いて楽しむ、「臭覚」香りで楽しむ、「味覚」あじで楽しむ、「触覚」ふれて楽しむ、という高級化の時代である。このきびしい国際競争の中で生き残るには消費者の視点にたった品質第一主義の生産がこれからの緊急な課題であることは申すまでもない。

カボチャは本町の一村一品の重要な作物である。「一村一品運動は経営である」。「一品は商品として高度な技術のもとに生産され長期にわたる出荷先の提携、そして消費者のニーズの変化に対応したものでなければならぬ。

この一品を地域の産業として根付かせるには指導者の取り組み、そして生産農家の情熱と努力が何よりも肝要である。

最後に本町の一村一品が「一損一貧」に終わらないようお互いに最善の努力を傾注し農家経営の安定を期したい。

以上

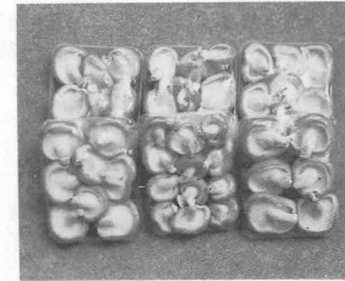
むらづくりー一品作物推進経過



柿



輸送野菜



シイタケ

推進作物の考え方

県が提唱している農村振興運動の一環として、一品運動即ち、田代町の顔となる産品「むら自慢」を一つずつでも開発したい。それも一人よがりではなく、全町民が対応できる産品を育てようとする運動です。

一品運動は必ずしも一品でなくとも四品でも五品でもかまいません。

田代町では、おいしい米、お茶、肉用牛等がありますが、第四、第五の産品をむらぐるみで対応したいものです。

この運動は一朝一夕にして成果のあがるものでなく、息のながい運動として、今後とも積極的にしかも力強く展開しなければならぬ課題である。

一品運動の作物選定

- 一、本町の気候土壌に適した作物であること。
- 二、全町民がなじみやすく、対応しやすい作物であること。
- 三、二次加工ができ、故郷の味として、又健康食につながる作物
- 四、作りやすく、農薬防除等安全作物であること。
- 五、消費者が将来共に希求し、流通しやすい作物であること。

※クヌギ造林経過

年度	57以前	58	59	60	61	62	63	元	計
面積	44.9	2.9	5.9	12.5	5.0	23.4	4.4	6.8	105.8

※町有クヌギ立木処分状況（一品グループ員へ払い上げ）

元年度	534本	19m ³
62年度	691本	56m ³
計	1225本	75m ³

●しいたけ

推進作物の現況

- ◎しいたけ
山林資源を活かした特用林産物の振興（資源の活用）
- ◎輸送野菜
高収益をめざした輸送野菜の振興（耕地の活用）
- ◎柿
山間傾斜を活かした落葉果樹の振興（山間地の活用）

※種苗状況

元年度	28,500本	975,000個
63年度	24,000本	840,000個

※販売実績

年度	量	単価	販売額
元	20t	800円	16,000千円
63	20t	800円	16,000千円
62	10t	700円	7,000千円

●輸送野菜 ※キヌサヤ

年度	面積	反収	生産量	単価	販売額
59	6.4	280	17	1,095	18,615
60	4.5	420	18.9	463	8,380
61	3.5	500	17.5	900	13,500
62	3.5	600	21	1,000	20,000
63	3.5	628	22	1,176	25,401
元	3.5	800	28	1,680	42,000

平成二年度田代町茶品質向上共進会



いましたが、出品茶については良質のものが多く出品され、品質格差も小さく出品者の茶生産に対する意識が向上してきたものと考えられます。

また今年は、桜島の噴火活動が活発で一番茶操業開始から洗浄脱水を余儀なくされ、市場出荷分については入札不落、返品等のものはなかったものの出品茶の中に灰の目立つものがあったことは遺憾でありました。

今年は50点が出品され、審査結果は次のとおりとなりました。

順位	番号	氏名	外観 (30)	香気 (70)	水色 (30)	滋味 (60)	合計
1	13	坂口 製茶	29	69	30	69	197
2	42	錦茶 工場	30	70	29	68	197
3	18	坂口 勇夫	29	68	30	68	195
4	21	田畑 喜則	30	64	29	70	193
5	37	坂口 幸夫	28	69	28	66	191
6	14	田尻 節子	29	64	30	66	189
7	19	帖地 光夫	28	67	28	64	187
8	25	上田 製茶	29	61	29	67	186
9	22	田尻 静夫	29	65	26	65	185
10	5	松ノ下利馬	29	68	29	59	185

平成二年度田代町茶品質向上共進会の審査会が、5月24日(木)なんぐ農協田代支所において行われました。

審査員には、県茶業試験場大隅支場の花田先生と根占農業改良普及所の西久保先生にお願いし、町茶品質向上共進会の審査要領に基づき、外観30点、香気70点、水色30点、滋味70点の合計200点満点で審査をしていただきました。

今年の一番茶は、全体に重みのない茶が生産されて

厚生大臣特別表彰受賞

先に開催されました平成2年度県民生委員協議会において下部落の井手龍親さん(旧民生委員)、鶴園部落の久保クミさん(旧民生委員)の両名が厚生大臣特別表彰を受賞されました。

お二人の御功績に敬意を表すとともに心よりお喜び申し上げます。

お知らせ

児童扶養手当

制度とは!!

父親のない児童(父が重度の障害者を含む)の母や母に代わってその児童を養育している方に対して手当を支給する制度です。

一、児童扶養手当を受けることのできる人。

日本国内に住所のある母子家庭又は母子家庭に準ずる家庭(父が障害、遺棄、拘禁等)で、18歳未満の児童(障害児については20歳未満)を監護している母、または母に代わってその児童を養育している人にこの手当が支給されます。

児童を養育している人にこの手当が支給されます。

ただし、対象となる児童が里親に委託されたり、児童福祉施設(母子寮、保育所、通園施設を除く)や少年院等に入所しているとき、老齢福祉年金を除く国民年金、厚生年金、恩給などの公的年金の給付を受けることができる(繰り下げ受給を希望して受給していない場合を含む)、手当を受けようとする母が婚姻届はしていないが事実上婚姻状態にある男性がいるときはこの手当は支給されません。

二、手当の請求期限

昭和60年8月1日以降に手当を受ける要件に該当するに至った人は、該当した日から5年を経過すると手当の請求ができなくなりしますので注意して下さい。

(たとえば、昭和60年9月7日に離婚した場合、平成2年9月6日を過ぎると請求できません。)

ただし、正当な理由がある場合はこの限りではありません。

農業委員会

委員選挙

農業生産力の発展及び農業経営の合理化をはかり、安定した農業の推進に寄与する農業委員会委員の選挙が七月に行われます。

正当な理由とは、震災、風水害等の自然災害、火災、急病、出産、交通事故等認定の請求をしなかったことが社会通念上容認されるものをいいますが、それぞれの場合において応じて検討しますのでご相談下さい。

制度を知らなかったことは正当の理由にはなりません。なお、それ以前に手当を受ける要件に該当するに至った人はこの限りではありません。

※手当を受ける要件に該当してから、長期間にわたって請求をしていない人は早めに御相談下さい。

問い合わせ先
役場民生課福祉係
☎五二五一一
内線24番まで

投票日
平成二年七月十五日
投票時間
午前七時から午後六時まで
投票できる人
平成二年一月一日現在で農業委員会選挙人名簿記載申請をされた人で、農業委員会法第八条の規定の要件を備えている人。

花瀬公園

プール・キャンプ場

開設

夏休みが近づき、花瀬公園のプール、キャンプ場が「七月二十日から八月三十一日まで」開設されます。

花瀬公園は、キャンプ施設、流水プール、子供広場等が子供たちの夏休み期間開設しています。

また昨年整備の終えたバンガローの利用も多く六月二十五日現在で八月までの土・日曜日は予約でいっぱいになっておりますが、キャンプ場にはまだ余裕がありますので、キャンプ場を御利用ください。

旅券(パスポート)申請窓口を増設

7月から

鹿屋総務事務所でも旅券(パスポート)の発給申請及び交付は、県庁国際交流課で行われていました。昨年4月から熊毛支庁、大島支庁でも取扱いができるようになっていますが、今年の7月からは県内の各総務事務所、県民労働課でも申請手続きや旅券の受領ができるようになります。

これまで、県庁まで出向いて手続きをしていたものが、鹿屋総務事務所(県鹿屋支庁内)でも可能になります。

詳しいことについては、県国際交流課(☎〇九九二二六〇七)又は鹿屋総務事務所(☎〇九九四三二二二)へおたずねください。

緑のオーナー募集

大根占営林署では、一口二十五万円で緑のオーナーを募集中です。

国有林の分収育林(緑の

NTTからのお知らせ

長い間、ご愛顧いただき、誠にありがとうございました。NTT大根占営業所は、7月2日(月)からNTT鹿屋支店の代理店として、衣替えいたしました。

業務内容は、従来どおりで、お客様の電話番号等も

変わります。

今までのご愛顧に感謝するとともに、今後ともNTT大根占代理店をご利用くださいますようお願い申し上げます。

なお、電話に関する問い合わせは、局番なしの「116番」、電話の故障は局番なしの「113番」へお申しつけ下さい。

窓口業務の取扱日、窓口営業時間は次のとおりです。

○窓口業務取扱日
月曜日から金曜日 但し、祝日及び年末年始は除く
○窓口営業時間
午前九時から
午後四時まで

ご存知ですか

建設業関係の皆さん

建設業を営む方々、及び建設現場で働く皆さん、国が作った「建設業退職金共済制度」を御存知ですか。この制度は、昭和三十九年に中小企業退職金共済法により作られたものです。

この制度の特色は、一般の退職金のように労働者が事業所をやめた時支払われる退職金でなく、建設業という一つの業種の中で働く限り、事業所に雇用された期間全部を通算して退職金を支払うという、いわば建設業界ぐるみの退職金制度です。

退職金は、国の制度ですから、確実、安全であり、極めて有利な利回りで計算されています。

現在、全国で十二万の事業主、百七十五万人の労働者がこの制度に加入し、退職金の積立が行われ、すでに五十二万人の労働者が退職金を受け取り、その額は千二百八十億円を超えております。

この制度について詳しいことは、左記にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先
建設共産鹿屋支部
住所
鹿屋市鴨池新町六一十
鹿屋島建設センター内
電話〇九九二〇九二一六



皆、真剣な笑顔で

教育だより
郷土を描いた！
～スケッチ大会～
悪天候のため、一週間待たされたスケッチ大会がやわらかな陽光に包まれて、五月二十五日に行われました。
楽しみにしていただけにみんな真剣に取り組みました。
校外に出てあらためて眺める郷土に、「描く」活動を通じて自然のすばらしさと、愛着の念が更に深く感じられたことと思います。

苦心した構想
三年 永嶺一也
一週間延期されたスケッチ大会も晴天にめぐまれ五月二十五日実施されました。一年に一回しかないスケッチ大会は私にとって楽しみにしていた行事の一つでした。
大会前日、絵をかく場所を決め構想をたてました。同じ場所でも構想次第でさまざまな絵が描けるのでそこに時間をかけました。
生徒それぞれ自分の決めた場所へ行き色ぬりにかかるところ、私はまだ絵を描いていました。自分で納得しなければあとで後悔するので今のうちに、自分の想いを絵にあらわしたかったからです。
私の絵は、緑が主ですが緑といっても数多くあります。その色を本物により近くすればするほどうまく描けてきます。色をつかっていてそのとき、イメージしていた色がでてきたときが絵をぬるとき喜びなのではないかと思いました。

楽しかった スケッチ大会
一年 大原ルイ子
この日は、天気もよく、計画どおりスケッチ大会が行われた。ずっと延期続きだったので、スケッチ大会が来るのを、とても楽しみにしていた。
いろいろな注意などを聞いた後、自分の書きたい場所を、探しに行った。
書く場所は、いろいろと迷ったりもしたが、やっと一カ所に定め、そこで書き始めた。私は、絵はそんなに上手ではないが、書くことはとても好きだ。だから、書いているときが一番楽しかった。
書くのがおそくて色をぬるのが少しおくれってしまった。絵を書くことはたのしいのだが、色つけとなるとあまり得意ではない。けっきょく一日では、あまり進まなかったけれど、美術の時間を使っていい作品ができればいいなあと考えた。とても苦労したけど楽しい一日でした。



あき缶ひろいに一生懸命の青年団

きれいな町づくり
青年団あき缶ひろい
田代町連合青年団(団長 猪鹿倉幸二)は、肝属地区青年団の今年のテーマとなっている地球環境を考えるという事であき缶ひろいを6月10(日)行いました。団員が二班に分かれて、極楽峠から中央グラウンド、新田トンネルから中央グラウンドまでの道路を中心に行いました。
普段、車で通っている道路もあき缶等は目立たないものの、道路から一歩はずれると、そこはあき缶だらけ。



ひろい集めた あき缶の山

用意した袋は、アッという間にいっぱい。あわてて袋を用意することになり、本当にあらためてあき缶の量の多さに驚かされました。
今後は一人ひとりが気をつけ、あき缶ひとつないきれいな田代町にしたいものです。
ひろげよう
地球環境の輪
きれいな町づくり
捨てるな！
ゴミやあき缶

交通事故「0」2000日達成
6月28日で交通事故「0」2000日達成が
されました。
これからも、交通安全に御協力ください。
尚、2000日達成記念式典を7月23日行います。

**平成二年度第二次
自衛官募集**

希望者は役場総務課まで
特別職国家公務員自衛官を次のとおり募集します。

応募資格

採用予定月の一日現在で満18歳以上、25歳未満の日本国籍を有する人で学校教育法に定める中学校卒業程度以上の学力を有し、かつ自衛隊法に定める欠格条項に該当しない者とする。

水の事故を防ぎましょう
いよいよ水に親しむシーズンがやってきます。しかし、毎年7・8月の夏場には水と親しむ機会が増える分、水の事故も多発しています。
昨年、県内で65件の水難事故が発生し海や川などで44人の方が亡くなりました。水遊び中の子供の事故だけでなく悪天候をおしての無理な釣りによる大人の事故も多数の犠牲者をだしています。このような痛ましい水の犠牲者が出ないように次のことに十分注意してください。
▽磯釣りをするとき、天候を十分確認し、無理をし

ないこと。また、高波と足場には注意し、救命胴衣を着けましょう。
▽小さな子供だけで泳ぎや水遊びをさせることのないよう、必ず保護者や泳ぎの上手な人が同行しましょう。
「日本の黎明」
翔ぶが如く展を
—黎明館で開催—
県とNHKとは、大河ドラマ「翔ぶが如く」の放映を記念し、全国10都市で「日本の黎明」翔ぶが如く展を開催しています。
西郷南洲翁や大久保甲東公の偉業や島津七百年の歴史・文化を紹介。全国各地の博物館・資料館から集め

**七月の
日曜在宅医**

7月8日
二川内科胃腸科 二川俊文
〇九九四二二〇三三
7月15日
津崎医院 津崎邦英
〇九九四二二一五三
7月22日
黒木医院 黒木一丸
〇九九四二六〇一三
7月29日
大根占医院 山下健治
〇九九四二二六五八
8月5日
阿久根医院 阿久根廣一
〇九九四二二一〇〇

第148回 高山木材共販相場表

TEL 0994-65-5234 平成2年6月15日市

長 級	径 級	ス				
--------	-----	---	--	--	--	--



食事の世話をする中学生の皆さん

五月二十七日(日)、吾平町で肝属地区青少年ふるさとセミナーが開催され、本町からも約二十名の中高校生、青年が参加しました。このセミナーは、青少年のふるさと意識を高め、社会参加活動を推進する目的で毎年開催されているものです。鹿屋市の慈恵園などでボランティア活動を経験しましたが、参加した皆さんは高齢化社会について考えさせられることがすいぶんあったようです。

地区青少年ふるさとセミナーに参加



活動計画を作成する男子班



おばあちゃんを交え、ハイチーズ!!

参加した皆さんは、今後の経験を生かし、田代でボランティアの小さな輪を広げてほしいものです。

第28回郡民体育大会田代町選手団結団式おこなわれる

第28回郡民体育大会は今年はおとなりの佐多町でおこなわれます。期日は六月十七日に野球、ソフトボール、バレーボールの三種目がおこなわれましたが、野球、ソフトとも一回戦で敗退、女子バレーボールは接戦の末、決勝リーグ進出がなりませんでしたが、男子バレーボールは決勝リーグに進出しましたが佐多町に惜しくも敗れて四位となりました。本大会は、七月二十二日に九種目がおこなわれます。田代町からも総数一八〇名の選手が出場します。大会当日まであとわずかしかなかった、選手の方はベストコンディションで大会に出場できるように練習にがんばってほしいものです。

田代町選手団の結団式は去る六月九日に町開発センターでおこなわれ、約六〇名が参加し、各チームの選



出場する選手の皆さん

手の紹介があり、選手を代表して女子バレーボールに出場した、南大隅高校三年の宮園りか選手が「町民を代表する選手として恥ずかしい成績を残すため、全力をつくします」と力強い宣誓をおこない、全選手が決意を新たにしました。

七月二十二日は町民の方の多くの応援をお願いします。



参加した選手の皆さん



ドキドキしながら順番待ち

地区自転車競技大会開催

六月十日(日)、根占町体育館グラウンドにおいて、地区自転車競技大会が開催され、本町から田代小の二チームが参加しました。皆練習の成果を発揮し、一生懸命がんばっていました。

地区子ども会指導員会開催

本年度より「青少年育成の日」や子ども会活動を充実させるため、地区子ども会指導員を設けることにいたしました。

六月十一日(月)、午後七時より第一回目の指導員会を全員参加のもと、開催いたしました。今後の子ども会活動に対する熱心な意見交換を行い、盛会に終了しました。今後の地区子ども会指導員の方々のより一層のご活躍を期待してまいります。

氏名	性別	年齢	勤め先	担当地区	電話番号
1 牧原 幸一	男	34	福祉センター	麓	5-3157
2 鶴田 明	〃	22	役場	麓	5-2270
③ 西村 隼男	〃	42	田代小	麓	5-3836
④ 上ノ原悦朗	〃	46	商業	上部	5-2868
5 白川 猛	〃	41	田代小	上部	5-3842
6 榎本 雄二	〃	34	役場	上部	5-3298
⑦ 水流 幸一	〃	52	農業	川原	5-3650
8 岩川 剛	〃	28	田代中	川原	5-2110
9 福留 春雄	〃	25	衛生処 理組合	川原	5-3651
⑩ 川前 徳夫	〃	54	農業	花瀬	5-2607
11 柳 範一	〃	55	田代中	花瀬	5-3255
12 猪鹿倉幸二	〃	24	農協	花瀬	5-3799
13 坂口 勇夫	〃	42	農業	大原	5-2682
⑭ 竹内 茂弘	〃	34	大原小	大原	5-3224
15 大迫 輝久	〃	28	大原中	大原	5-1791

○印は地区の責任者です。



指導員を交え、年間計画作成 (川原地区)

父親セミナー開催

大原小学校
六月一日(金)、大原小学校で吾平小学校長、坂元重夫先生を講師に招いて、父親セミナーを開催しました。

この父親セミナーは、父親等に対する学習を推進するとともに、家庭や地域の教育機能を高め、教育力のある風土づくりをする目的で開催しているものです。坂元先生のユーモアを交えた話に、お父さん方も一生けん命聞き入っていました。皆さんも機会があったら、参加してみませんか?



ユーモアを交えて話される坂元先生

高齢者学級始まる!!

町内の65才以上の方を対象にした高齢者学級が始まりました。第一回は5月に開講式を行い、第二回は6月15日(大原地区)、18日(川原地区)、20日(麓地区)に菊の植え方、土づくり、懸崖の作り方などを田代中学校柳教頭先生のご指導で楽しく行われました。

講座はあと8回あります。65才以上の方、是非参加して、楽しく学習してみませんか。



熱心に聞き入るお父さん方



みんな真剣な表情で



熱心に講議 柳教頭先生

健康だより

おいしく食べよう―食と心
桐原（ゆずりはら）の教訓

桐原は山梨県上野原町の北にある山村で、村の入口には「長寿村・桐原」とたたえる大きな記念碑が建っている。

この碑は昭和52年4月に建てられたが、その後わずか数年にして老人たちはみな元気が、50歳前後の中年層は脳卒中、がんなどの成人病で倒れその数は激増している。

この暗然たる現状はどうして起こったのだろうか。そのきっかけをつくったのは、昭和28年に村民待望のバスが開通して、生活様式と食生活の様相がまったく変じたためである。

それまでの桐原独特の生活に、その後の経済成長の波がどっと押しよせ、昔ながらの農業、林業、炭焼などでは生計を保つことができなくなり、青・壮年層はいままでの仕事を捨て、東京方面に出稼ぎ、残るは老人と子供だけとなって、田

畑は荒れるにまかせるようになってしまった。

かつて「米の飯をたらふく食って死にたい」というのが唯一の悲願だった村人は、今は白米はおろか肉、卵、牛乳、ハム、ソーセージや焼酎にかわる酒、ビール、ウイスキーその上インスタントラーメン、砂糖、菓子、コーラ、ジュース等一見都会と少しも変わらぬ食生活となった。

又、冷蔵庫、電気洗濯機、テレビ、自家用車等が各家庭に備えられ生活は快適、合理的となった。この激しい変化に対し、十数年にわたって村の健康管理をやってきた古守医師らは「長寿村・短命化の教訓」として訴えておられる。

昔、桐原では米がとれないために麦を中心にあわ、きび、ひえ、とうもろこし、あずき、そば等の雑穀をはじめ、豆類、じゃがいも、さといも、さつまいも、やまいものほか豊富な野菜、山菜等を中心として、その土地でとれた食品をその土地の人が旬に応じて食べて

きた。

この身上不二によって、健康と長寿を保ってきたのである。そして、食豊一体の食生活が営まれ、桃源郷理想郷とまでいわれた桐原が、わずかの間にこのように変わった経過を目前にして、今後我々はどのように考え、どのように対処したらよいのであろうか。



戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

鹿児島県茶業大会 平成三年十一月 田代町で開催

田代町社会福祉協議会
「篤志寄付金」
さきに御逝去されました
方の御遺族より、香典返し
を廃止され社会福祉協議会
へ多額の寄付を賜りました。
厚くお礼申し上げますと共に
ご冥福をお祈りします。
瀬口 敬造 様
右田 ミサ子 様
山崎 富義 様
牧原 スミエ 様

